



2021年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月6日

上場会社名 GMOメディア株式会社
 コード番号 6180 URL <http://www.gmo.media/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 2021年5月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 森 輝幸
 (氏名) 石橋 正剛
 TEL 03-5456-2626

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,807	90.4	99		101		62	
2020年12月期第1四半期	948		6		6		6	

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 62百万円 (%) 2020年12月期第1四半期 6百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	36.66	36.54
2020年12月期第1四半期	3.90	

(注) 当社は2020年12月期第1四半期より連結業績を開示しているため、2020年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	3,869	1,944	50.2
2020年12月期	3,615	1,881	52.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 1,944百万円 2020年12月期 1,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2021年12月期	0.00				
2021年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)								
通期	6,000	20.0	150		150		175	102.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	1,868,839 株	2020年12月期	1,868,839 株
期末自己株式数	2021年12月期1Q	157,400 株	2020年12月期	157,400 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	1,711,439 株	2020年12月期1Q	1,737,850 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
当社は、2021年5月6日に決算補足説明資料を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から2021年4月に3度目の緊急事態宣言の発令が行われるに至っており、依然として不透明な状況が続いております。

当社は、2021年度においては中長期を見据え将来の事業の中核となる事業を育てるため、引き続き既存のECメディア領域における安定した収益をもとに、プログラミング教育、美容医療領域への投資をすすめています。

新型コロナウイルス感染症に伴うリアルな人の移動と施設利用の制限により、影響が出ている事業もありますが、プログラミング教育事業に関してはGIGAスクール構想の前倒し実施や、オンライン化の加速なども現象として発生しており、新たな事業機会も生まれております。また、広告需要期を迎えてアドネットワークの広告単価が上昇基調となり、広告媒体の収益が順調に推移しました。

当社では、収益基盤を強化するために、戦略的に投資を進める方針は変わらないものの、投資のタイミング及び内容については、新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、慎重かつ積極的に進めていく予定になります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高は1,807百万円（前年同期比90.4%増）、営業利益は99百万円（前年同期は6百万円の営業損失）、経常利益は101百万円（前年同期は6百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は62百万円（前年同期は6百万円の純損失）、となりました。

セグメント別の業績については、以下の通りになります。

① メディア事業

プログラミング教育ポータル「コエテコ」、美容医療チケット購入サービス「キレイパス」、ECメディア領域のメディアが属しています。

広告需要期を受け、広告単価が上昇したことで広告収益が増加しました。また、育成事業であるプログラミング教育ポータル「コエテコ」、美容医療チケット購入サービス「キレイパス」も順調に成長しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるメディア事業の売上高は1,406百万円（前年同期比104.1%増）、営業利益は76百万円（前年同期は2百万円の営業損失）となりました。

② その他メディア支援事業

ASP事業「affitown」の運営などを行っており、広告需要期を迎えて、一部業種の広告主による広告出稿が増加しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他メディア支援事業の売上高は401百万円（前年同期比54.3%増）、営業利益は23百万円（前年同期は4百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,869百万円（前連結会計年度末比253百万円増）となりました。これは主に、現金及び預金が132百万円、関係会社預け金が50百万円、売掛金が148百万円増加した一方で、投資有価証券が59百万円減少したことによるものであります。

負債は1,925百万円（前連結会計年度末比190百万円増）となりました。これは主に、買掛金が153百万円、未払法人税等が23百万円増加したことによるものであります。

純資産は1,944百万円（前連結会計年度末比62百万円増）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益62百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、新型コロナウイルス感染症の影響が当期において一定程度継続しつつも緩やかに回復していくと仮定しており、現時点でその影響は軽微であり、2021年2月5日に公表しました業績予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	897,153	1,029,906
関係会社預け金	1,300,000	1,350,000
売掛金	797,373	945,620
商品	29,287	28,998
貯蔵品	11,810	14,830
その他	160,342	129,102
貸倒引当金	△1,310	△2,845
流動資産合計	3,194,657	3,495,613
固定資産		
有形固定資産	37,230	39,965
無形固定資産		
のれん	3,091	15,474
その他	40,937	36,504
無形固定資産合計	44,029	51,978
投資その他の資産	339,939	281,939
固定資産合計	421,199	373,883
資産合計	3,615,856	3,869,496
負債の部		
流動負債		
買掛金	436,208	589,349
未払金	512,589	517,412
未払法人税等	18,495	41,664
ポイント引当金	627,643	627,532
その他	114,745	122,009
流動負債合計	1,709,683	1,897,967
固定負債		
資産除去債務	13,271	13,315
その他	11,294	13,862
固定負債合計	24,566	27,177
負債合計	1,734,249	1,925,145

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	761,977	761,977
資本剰余金	842,127	842,127
利益剰余金	371,498	434,242
自己株式	△93,997	△93,997
株主資本合計	1,881,606	1,944,351
純資産合計	1,881,606	1,944,351
負債純資産合計	3,615,856	3,869,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	948,955	1,807,524
売上原価	699,966	1,311,358
売上総利益	248,989	496,166
販売費及び一般管理費	255,523	396,374
営業利益又は営業損失(△)	△6,533	99,791
営業外収益		
受取利息	384	270
暗号資産評価益	—	1,019
その他	155	918
営業外収益合計	539	2,208
営業外費用		
支払利息	208	134
支払手数料	142	—
営業外費用合計	351	134
経常利益又は経常損失(△)	△6,344	101,865
特別利益		
事業譲渡益	—	500
特別利益合計	—	500
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,344	102,365
法人税、住民税及び事業税	1,321	35,496
法人税等調整額	△872	4,124
法人税等合計	449	39,620
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,794	62,744
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,794	62,744

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,794	62,744
四半期包括利益	△6,794	62,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,794	62,744

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	メディア事業	その他メディア支援事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	688,997	259,958	948,955
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	688,997	259,958	948,955
セグメント損失(△)	△2,038	△4,495	△6,533

(注) 1. セグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. セグメント損失には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	メディア事業	その他メディア支援事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,406,221	401,302	1,807,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,406,221	401,302	1,807,524
セグメント利益	76,252	23,538	99,791

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。